

# IT Automation エクスポート/インポート 【実習編】

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

Exastro IT Automation Version 1.9 Exastro developer

# Xastro

# 目次

- 1. はじめに
  - 1. 本書について
- 2. 実習① メニューエクスポート/インポート
  - 1. 作業環境
  - 2. メニューエクスポート/インポートの作業手順
  - 3. データ登録
  - 4. メニューの作成・入力
  - 5. メニューエクスポート
  - 6. メニューインポート
- 3. 実習② Excel一括エクスポート/インポート
  - 1. 作業環境
  - 2. Excel一括エクスポート/インポート作業手順
  - 3. Excel一括エクスポート
  - 4. Excelファイル編集
  - 5. Excel一括インポート

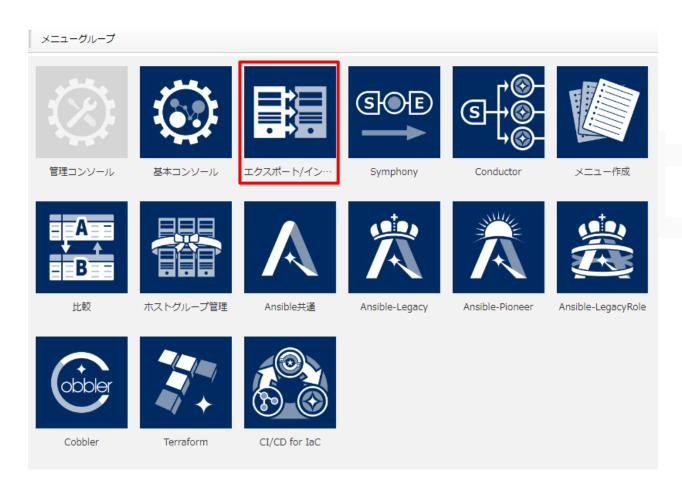
1. はじめに



# 1.1 本書について

### 本書について

本書ではメニューグループの「**エクスポート/インポート**」について、 実践形式で学習いただけます。



2. 実習① メニューエクスポート/インポート



### 2.1 作業環境

### 作業環境

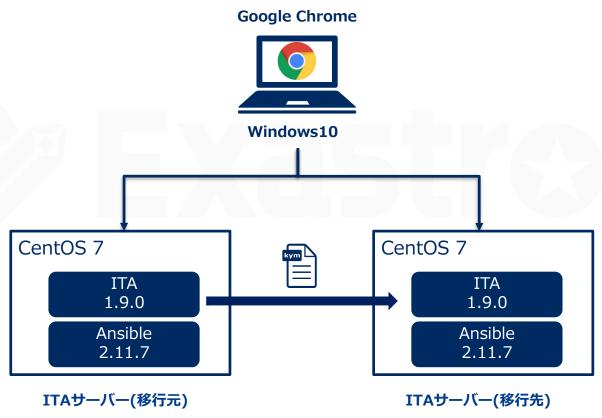
本章で使用する作業環境は以下の通りです。 メニューエクスポート/インポートを実行する際はITAサーバーを**移行元と移行先**の計2台ご 用意ください。

### クライアント端末

- Google Chrome
- Windows10

### ITAサーバー 2台

- CentOS 7 (※1)
- · ITA 1.9.0
- Ansible 2.11.7



※1 今回はホストサーバーとしてCentOS7を利用致しますが、ITAはRHEL7系およびRHEL8系のOSで導入いただけます。

# 2.2 メニューエクスポート/インポート作業手順

### 作業手順

本シナリオは以下の流れで進行します。

① データ登録 1. 機器情報 2. オペレーション 3. メニューグループ作成 ② メニューの作成・入力 4. メニュー作成 5. 作成したメニューの入力 6. エクスポートを実行する ③ メニューエクスポート 7. kymファイルをダウンロードする 8. インポートを実行する ④ メニューインポート 9. インポート結果を確認する

# 2.3 データ登録 (1/2)

### 機器の登録

メニュー:**基本コンソール > 機器一**覧

- ① 登録 > 登録開始 を押下する
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する





# 2.3 データ登録 (2/2)

### オペレーションを新規登録する

メニュー: **基本コンソール > オペレーション一覧** 

- ① 登録 > 登録開始を押下する。
- ② 各項目へ下表のように入力し、[登録]を押下する。



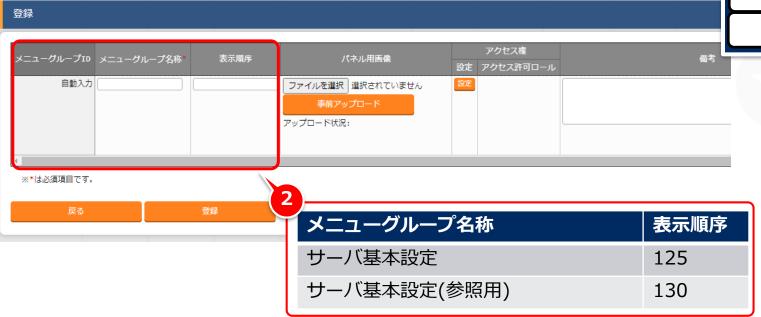


# 2.4 メニューの作成・入力(1/4)

### メニューグループの作成

メニュー: **管理コンソール > メニューグループ管理** 

- ① 登録 > 登録開始 を押下する
- ② 各項目へ下記のように入力し、登録する



データの登録
メニューの作成・入力
メニューグループ
メニュー
作成したメニュー
エクスポート
インポート

# 2.4 メニューの作成・入力(2/4)

# パラメータシートを作成する

メニュー: **メニュー作成 > メニュー定義/作成** 

- ① [メニュー作成情報]へ下表のように入力する
- ② [対象メニューグループを選択]を押下し、 対象メニューグループを選択する(次項へ)



2100011611 代入値自動登録用

2100011612 参照用

Exastro

対象メニューグループを選択

データの登録

メニューの作成・入力

メニューグループ

メニュー

作成したメニュー

# 2.4 メニューの作成・入力(3/4)

### パラメータシートの項目名を定義する

メニュー: **メニュー作成 > メニュー定義/作成** 

- ① [項目]を押下し、新しい項目を追加する
- ② 各項目について、下表のように入力する
- ③ 画面下部の[作成]を押下する





# 2.4 メニューの作成・入力(4/4)

### パラメータシートにデータを登録する

メニュー: **サーバ基本設定 > ディレクトリ設定** 

- ① 登録 > 登録開始 を押下する
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する
- ③ ②で作成したデータについて、下表の内容に更新する





2

ホスト名	オペレーション	path	owner	group	mode
任意	OP1	/tmp/work1	root	root	0644

3

ホスト名	オペレーション	path	owner	group	mode
任意	OP1	/tmp/work2	root	root	0644

# 2.5 メニューエクスポート(1/2)



# 2.5 メニューエクスポート(2/2)

### kymファイルをダウンロードする

実行したエクスポートのデータをダウンロードしましょう。

メニュー: **エクスポート/インポート > メニューエクスポート/インポート管理** 

- ① [一覧]を押下する
- ② エクスポート状況の一覧から、kymファイルをダウンロードする





# 2.6 メニューインポート(1/3)

### インポートを実行する

ここからは移行先サーバでの操作となります。 kymファイルをアップロードし、インポートを実行しましょう。

メニュー: **エクスポート/インポート > メニューインポート** 



Exastro

データの登録

メニューの作成・入力

エクスポート

インポート

# 2.6 メニューインポート(2/3)

### インポートのステータスを確認する

実行したインポートの情報を確認し、 ステータスが「完了」となっていることを確かめましょう。

メニュー: **エクスポート/インポート > メニューエクスポート/インポート管理** 

- ① [一覧]を押下する
- ② 実行したインポートのステータスが「完了」であることを確認する





# 2.6 メニューインポート(3/3)

### インポート結果を確認する

移行されたメニューを確認しましょう。各レコードの変更履歴も移行されています。合わせて確認してみましょう。

### メニュー: **サーバ基本設定 > ディレクトリ設定**

- ① [フィルタ]を押下する
- ② 「データポータビリティプロシージャ」によってメニュー情報が 移行されていることを確認する





- ③ [変更履歴]を押下し、登録したレコードのナンバーを入力する
- ④ [表示]を押下し、変更履歴の情報が移行されていることを確認する



3. 実習② Excel一括エクスポート/インポート



### 3.1 作業環境

### 作業環境

本章で使用する作業環境は以下の通りです。 シナリオの実行に必要なITAサーバは1台です。

### クライアント端末

- Windows10
- Google Chrome

### ITAサーバー 1台

- CentOS 7 (%1)
- · ITA 1.9.0
- Ansible 2.11.7







※1 今回はホストサーバーとしてCentOS7を利用致しますが、ITAはRHEL7系およびRHEL8系のOSで導入いただけます。

# 3.2 Excel一括エクスポート/インポート作業手順

### 作業手順

本シナリオではExcelエクスポート機能を用い、「ロール管理」および「オペレーション一覧」へまとめて登録処理を行います。作業手順は以下の通りです。

- 1. エクスポートを実行する
- 2. zipファイルをダウンロードする

① Excel一括エクスポート

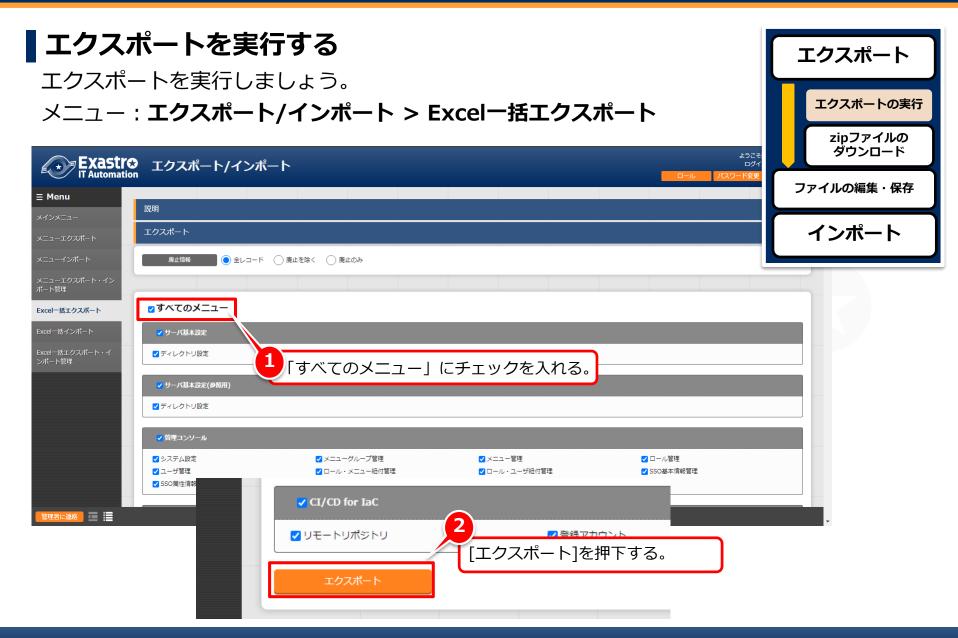
- 3.zipファイルを解凍し編集・保存する
- 4.編集したファイルを圧縮する

② Excelファイル編集

- 5. インポートを実行する
- 6. インポート結果を確認する

③ Excel一括インポート

# 3.3 Excel一括エクスポート(1/2)



# 3.3 Excel一括エクスポート(2/2)

### zipファイルをダウンロードする

実行したエクスポートのデータをダウンロードしましょう。

メニュー: **エクスポート > Excel一括エクスポート/インポート管理** 

- ① [一覧]を押下する
- ② エクスポート状況の一覧から、zipファイルをダウンロードする



23



# 3.4 Excelファイル編集(1/3)

# zipファイルを解凍し編集する

- ① ダウンロード完了後ファイルを解凍
- ② ファイルを開く > 管理コンソール > ロール(Excelファイル)を開く
- ③ 以下のようにファイルを編集し、上書き保存する



エクスポート

エクスポートの実行

zipファイルの

ダウンロード

# 3.4 Excelファイル編集(2/3)

### zipファイルを解凍し編集する

解凍したファイルを編集しましょう

- ① ダウンロード完了後ファイルを解凍
- ② ファイルを開く > 基本コンソール > オペレーション一覧 (Excelファイル)を開く
- ③ 以下のようにファイルを編集し、上書き保存をする





# 3.4 Excelファイル編集(3/3)

### 編集したファイルをzipファイルに圧縮する

※ファイル名は任意で指定できます



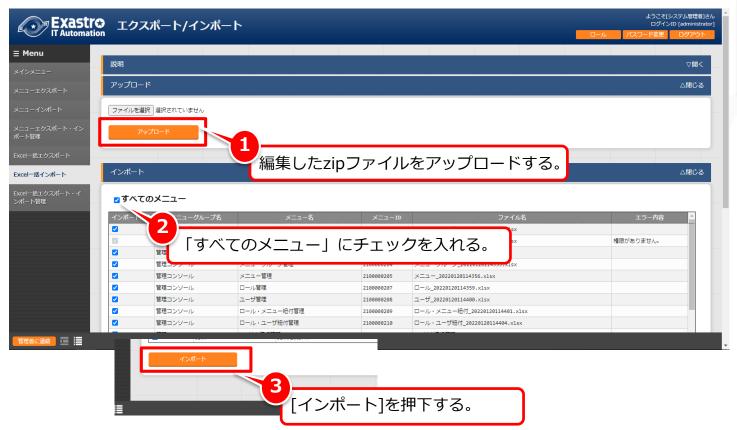


# 3.5 Excel一括インポート(1/3)

### Excel一括インポートの実行

zipファイルをアップロードし、インポートを実行しましょう。

メニュー: エクスポートインポート > Excel一括インポート





# 3.5 Excel一括インポート(2/3)

### インポートのステータスと登録結果を確認する

実行したインポートの情報を確認し、 ステータスが「完了」となっていること、登録結果を確かめましょう。

メニュー:**エクスポート/インポート > Excelエクスポート/インポート管理** 



Exastro

エクスポート

ファイルの編集・保存

インポート

インポートの実行

# 3.5 Excel一括インポート(2/3)

2 Role\_A

廃止 2,100,000,002 oaseアクション

フィルタ結果件数:5



oaseアクション

登録内容が反映されていることを確認する。

2022/01/20 13:18:37 システム管理者 2022/01/20 13:18:37 システム管理者 550デフォルトロール 2015/04/01 10:00:00 データポータビリティブロシージャ

2015/04/01 10:00:00 データポータビリティプロシージャ

Exastro

管理者に連絡 📉 🔙

# 3.5 Excel一括インポート(3/3)



